



孫のランドセルは？

孫のランドセルを購入することになり、娘である母親と一緒に売り場に向かった時のことです。カラフルな色とりどりのランドセルが並ぶ中、孫が選んだランドセルの色はキラキラ光るピンクに近い紫色でした。

娘が慌てて孫に言い聞かせています。

「○○は男の子だから、男らしい色のランドセルを選ぼうね！」

私は、えっ！今はジェンダー教育を進めている時代……。

私の娘は知らんのか〜い？？（心の声でさげびました）（-_-;）

幼少期から青年期にかけての多感な時期に、学校では性のあり方に対する思い込みや押しつけをしない教育を推進しているようです。

「男の子だから、泣いたらだめ！」とか「女の子だから愛想良く」とか「男子は理数系に」、「女子は文系が合っている」

などという固定観念に縛られることなく、子どもたちが自由に自分らしく生きていける社会を目指して、細やかな配慮をしながら実践しているという話も聞きました。

学校現場での性別では分けない取組の例としては、出席簿や授業内容（柔道や料理実習など）、制服・体操着の選択、生徒の呼び方（○○さん）など数多くあります。昔の学校生活では想像もしなかったですね。

ジェンダー教育を推進強化することにより、今後の社会情勢が大きく変わり、性別に関わらず好きな進路（職業）を選べ、女性の政治家がその能力で増加したり、家庭では家事や育児の分担は話し合っ決めて決めるという未来が待っているかもしれません。いや、もうすでにそうなりつつあります。

一番大切なことは、男女関係なく、自分という人格を大切にできる世の中になることですよね。

☆☆☆大好きなお孫ちゃんへ……キラキラの紫色のランドセルも素敵だよ！

おばちゃん 2